



ぱっぱか
チャレンジ

点結びクイズ

何の絵かな？

つないでいくと何かが出てきます。さて何が出てくるのでしょうか？

準備するもの

- ・とがった鉛筆
- ・消しゴム
- ・定規

ルール

1から98までの
点を順番に繋いで
ください。



編集後記

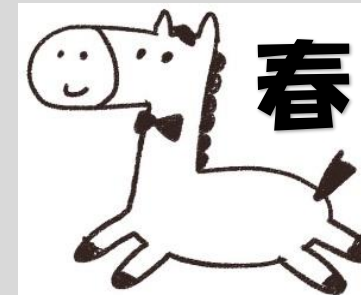
この広報誌は、平成29年度から実施されている生活支援体制整備事業について、より多くの方に知っていただくため、これから定期的に発行していきます。まだまだ活動の状況が周知されていない事業ではありますが、地域の皆さんとともに進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

なお、不明な点やお気づきの点がございましたら、前ページの問い合わせ先までご連絡ください。

生活支援コーディネーター 小笹山

富里市生活支援体制整備事業広報誌

ぱっぱかだより



令和2年5月発行



市内全域を
まとめてます
小笹山です



南部地域の担当
飯生です



中部地域の担当
田口です



北部地域の担当
宮根です

おんまはみんなぱっぱか走る～♪皆さんも一度は歌ったことがあると思います。子供の時？ 大人になって子供と一緒に？

この『ぱっぱかだより』は私たちが住んでいるこの富里が馬のふるさとだから…も名前の由来の一つですが、この歌から連想できた『馬たちが楽しくそして仲良く走る様子』が私たちがお届けするお便りのイメージにぴったりだからです。それは、地域に住む人たちが楽しみながら自分たちにあったペースで地域づくりに取り組んでいることを知ってもらいたい。そして、『とみさと』が地域に住む人たちの手で『住みやすいふるさと』になるために皆さんと一緒に歩んでいきたいからです。

このお便りはまだ生まれたての子馬です。皆さんと一緒に「ぱっぱかぱっぱか」走って一人前の馬になれるように応援してください。よろしくお願いいたします。



生活支援体制整備事業って知っていますか？



生活支援体制整備事業は『地域のささえあい活動』とも呼ばれています。住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らし続けるための住民による「たすけあいの活動」のことです。それは特別なことではなく、友人やご近所との「おはよう！」のあいさつや「どうしたの？」の気持ち、みなさんの地域で行われているたくさんのつながりなんです。

私たち生活支援コーディネーターはそのつながりをみなさんと共有し『地域にあったささえ合い』の方法と一緒に考えています。

みんなの伝言板

大募集

わたしから一言

新型コロナの感染拡大で、家族や友人、ご近所さんと集うことがままならなくなっていますよね。

そこで、ぱっぱかだよりでは今、あなたがいいたい一言を募集します。30文字程度にまとめて応募してください。6月15日まで受付、次回のぱっぱかだよりに掲載いたします。

投稿される方の住所、氏名、年齢（生年月日）、電話番号を明記し、郵送またはFAXで受け付けます。宛先はお住いの地域にある地域包括支援センター（下記に記載）ぱっぱかだよりわたしから一言係

問い合わせは地域包括支援センター（下記に記載）

※掲載についての注意

投稿が多数だった場合は調整の上掲載させていただきます。



発行・問い合わせ

全域：高齢者福祉課包括支援班

北部(北中学区)：富里市日吉台4-3-1

中部(富中学区)：富里市七栄653-73

南部(南中学区)：富里市立沢新田192-16

電話 93-4981 FAX 93-2215

電話 36-7725 FAX 36-7726

電話 85-5572 FAX 85-5582

電話 90-6331 FAX 90-6363

生活支援コーディネーターは各地域包括支援センターに配置されています



地域の交流の輪をひろげよう！



特集 北部地域



地域交流 イベント

令和2年2月14日「ひよし地区ささえあい協議体」では地域の集いの場（カフェサロン等）に参加されている方同士がさらに交流の場を広げてもらうのを目的として成田富里徳洲会病院を会場に「ひよし地区集いの場対抗ポッチャ大会」を開催いたしました。

参加団体9団体、16チーム、総勢76名で優勝を狙い激戦を繰り広げ、にぎやかで楽しい大会となりました。

ひよし地区ささえあい協議体は
主に18名のメンバーで
毎月第2火曜日に
開催しています。



注目！

今年度は、ひよし地区ボランティアーサービスが、立ち上がり、頑張っていると思います。



夏 うちわ作り



毎月第3火曜日はお茶のみサロン「ふれあいクラブ」を開催！お茶会やおしゃべりをしながら季節の小物づくりや音楽鑑賞などを楽しんでいます。